

# 朝日山だより



♪プランターの花植え♪

社会福祉法人 あさひ会

- ・生活介護事業所 朝日山学園
  - ・グループホームあさひ
  - ・ヒューマンサポートタッチ
  - ・佐賀県東部発達障がい者支援センター結
- 〒841-0073 佐賀県鳥栖市江島町字西谷 3300-1  
TEL (0942) 84-3266  
(0942) 81-5409 (支援室直通)  
FAX (0942) 84-3286

## ～ 巻 頭 挨拶 ～

朝日山学園 管理者 橋口 太

夏の猛暑も少しずつ和らぎ、朝、晩は秋の気配も感じられる季節になりました。

昨今のコロナ禍で当園の利用者の皆様にも制限の毎日が続き、今までの日常から変化も多く、戸惑う日々を送られていたことと思います。その中でもマスクの着用など、難しいのでは、と思っていたことを受け入れていかれる変化もあわせて見ていくことができました。そして、皆さん自身も、社会情勢の変化を見て、聞いて、感じる心が動いている事を学ばせていただきました。5月よりコロナ感染症も5類に移行しましたが、まだまだ、油断はできない日々です。利用者の皆さんの命を守る為の対策はこれからも引き続き取り組んでいきたいと思っています。

また、7月の九州北部豪雨にあたり、被災された皆様には謹んでお見舞い申し上げます。一日も早い復興を願うとともに、当法人でも、様々な事態に備えて、安全にそして安心して、生活を送り、活動に取り組めるように基盤の整備を進めていく予定です。

話題は変わりますが、朝日山学園も平成9年よりこの地で、多くの支援を必要としている方々が、所属をもち、自分らしさを大切に、仲間とともに日中活動に取り組める場所として歩み始め、今年で26年目を迎えました。

利用者の皆様は、なかなか自身の思いや願いを言葉で伝えられない方がほとんどです。その分、日々の観察や立場に立つ想像力を謙虚にイメージしながら活動を組み立て、日々の資源回収や園外での散歩、社会資源などの利用を通して、地域の皆様と顔を合わせ、交流を持たせていただいております。この地域の中で利用者の皆様が存在し、活動に取り組んでいることを知っていただき、理解や啓発に繋がる様に取り組みを進めていっています。先日、地域の方より「皆さんとよく毎日歩いていますね、いつも見かけますよ」とお話をいただく機会がありました。このことをスタッフとも共有し、改めて、地域の方に見守っていただいていることを実感し、嬉しく、身の引き締まる思いを感じたところです。

これから先、朝日山学園が支援を必要としている方の地域生活を支える受け皿の一つとして存在していく為には、地域の皆さまのご理解ご協力は欠かせません。一つひとつのつながりを大切にさせていただきながら、この地域が、障がいの有無にかかわらず、誰にでも優しく、住みやすい、安心できる場所になることを願い、これからもしっかりと利用者の皆様のペースを大切にしていきながら取り組んでいきたいと思っています。

今後とも宜しくお願い致します。



## ～行事報告～

### 【ピクニック】

5月、グループに分かれて、ピクニック行事を実施しました。その中から東公園に出かけたSさんの取り組みを紹介します。

朝日山学園では、相手を意識する事や、心身を整える事を目的に、作業室のフリースペースで、集団歩行に取り組んできました。Sさんは、「歩行＝外散歩」と活動を認識しているため、室内で歩行の活動に参加することは受け入れも難しい状況でした。そこで、今回のピクニックを通して、室内で取り組んでいる集団歩行を、外出先の公園で実施し、Sさんも参加できる事を目標にしました。

Sさんはこれまでの経験でピクニックは散歩をするイメージが強いと推測しました。スケジュールに散歩と提示するとSさんが思う散歩のイメージを持たれるため、今回はスケジュールに「運動」と記載しました。公園到着後、広場に移動し「体操→レクリエーション→集団歩行」の流れで進めました。集団歩行のプログラムもSさんに「歩行をします」と言葉では伝えず、お手本を見せる等、行動を通して、Sさんに理解していただけるような動きを、スタッフは心掛けました。Sさんも他の利用者の方の動きに合わせる形で集団歩行に参加でき、周りの動きを見ながら最後まで取り組む事ができていました。

Sさんにピクニックの感想を聞くと「楽しかった」と言われていました。今回の経験を活かし、集団歩行に参加できる機会を増やしていきたいと思えます。（支援主任 田中）



### 【料理教室】

8月、料理教室を実施しました。今回の料理教室は、新メニュー「とんかつ風」を調理しました。事前に一人分の材料を小分けしておくことで、今から自分が調理する食材や調味料の分量も分かりやすくなるようにしたり、調理の手順書も活用しながら、自立して取り組めるように、準備を工夫しました。

今回、豚小間肉を使用したため、始めは見本の写真があっても「何が出来るのだろうか？」といった様子が見られましたが、お肉がまとまり、パン粉が付いたところで「とんかつだ！」と理解できた方もあり、そうと分かればきれいに成形してタイマーで時間を計りながら両面を焼きました。とんかつにキャベツを添え、ごはん、スープとコーヒーゼリーまで付いてボリューム満点の昼食となりました。衣一つ残さず、きれいに完食された姿がとても印象的です。

コロナ禍の影響を受け、感染予防策から利用者・スタッフのみで実施が続きましたが、またボランティアの方を交えて、料理教室が出来る日を心待ちにしています。（支援主任 中西）



## ～活動紹介～

### 【音楽活動】

朝日山学園では、毎月の取り組みとして、音楽活動を行っています。12月のクリスマス会での演奏発表に向けて、小グループに分かれて練習をしています。それに加え、文字通り「音」を「楽しむ」ように、季節の歌に合わせて体を動かしたり、穏やかな曲に合わせてリボンを振ったり、ヨガマットでストレッチをしたりといったリラクゼーションも取り入れてます。

積極的に歌いたい方、ゆっくりと過ごしたいかたなど、それぞれの利用者さんが心地よく過ごしていただけるような活動を心がけています。

「僕の音楽活動はいつ？」と笑顔で尋ねてくださる方もいらっしゃいます。利用者の皆さんがほっと一息つけるような、オアシスのような活動を目指しています。（支援員 中島）



## ～給食係から～

### 【献立会議の利用者参加に向けた取り組み】

利用者の方が楽しみにしている昼食は、月1回の献立会議の話し合いで決めています。話し合いの参加者は調理員、給食担当スタッフ、そして給食に関心の高い利用者の方数名です。献立会議資料はメニューや食材が記載してあり、内容が理解できるSさんは会議資料を見て、例えば「味噌汁の具は何？」等質問もあれば、「〇〇サラダが良い」など意見も出してくれます。また、食材の材料の細部にわたり良く気が付き、メニューを見てイメージを膨らませることができるSさんの食の知識の豊富さに、驚かされるばかりです。

また、今年度から、より利用者の方が参加しやすいよう、写真付きの会議資料を準備しています。写真があることでメニューのイメージがしやすく、より興味関心が引き出せ、何より自身が食べたいメニューを指さしてスタッフに伝えてくださるようになりました。以前の会議資料では途中から会議への意識が薄くなっていったHさんですが、今では近くにいるスタッフに指さしをして食べたいメニューを伝えたり、スタッフが会議の中で本氏の意味を確認したり決まったメニューにチェックをつけて視覚化することで、意欲的に会議に参加する姿がみられるようになりました。

写真付きの資料で会議を進めることで、以前より利用者の方が参加しやすく会議が活性化しています。また、普段参加されない利用者でも、会議に少し立ち寄って資料に関心を寄せる方もいました。今まで参加していない方でも「自分も参加してみたい」と興味を持ってもらえるよう、利用者の方が意見を伝えやすく、参加して楽しいと思える献立会議を目指していけたらと思います。（支援課長 古川）



～新しい職員の紹介～

☆グループホームあさひ☆

○勝本 裕之さん

令和 5 年 6 月より入職しました。利用者の皆さまが、安心して過ごしていただけるように、支援に努めてまいります。よろしくお願いいたします。

◎令和 6 年 年賀状廃止のお知らせ

この度、社会福祉法人あさひ会では、近年の SDGs（持続可能な開発目標）への取り組みの一環として、令和 6 年より全ての関係者の皆様に対し年賀状によるご挨拶を控えさせていただくことと致しました。

誠に勝手ではございますが、何卒ご理解賜りますとともに、今後とも変わらぬご支援を頂けますようお願い申し上げます。

◎寄付者ご芳名

西九州観光開発株式会社佐賀カントリー倶楽部 代表取締役 山口耕治様

福島 ツ子様 ・ 松本 知子様 ・ 久保 美枝子様 ・ 宮脇 永子様

医療法人野田内科設置の募金箱に募金頂いた皆様

◎3月～8月行事等【朝日山学園】

3月	3	嘱託医往診・内部研修	6月	2	ケース会議
	16	献立会議		9	ケース会議
	17	ケース会議		13	誕生会
	24	職員会議		15	献立会議
	29	誕生会		17	TEACCHプログラム研究会
3	新年度利用開始	23		職員会議	
4月	7	ケース会議	30	ケース会議	
	13	献立会議	20/27/28	強度行動障害支援者養成研修 基礎研修	
	19	誕生会	7月	7	ケース会議
	21	ケース会議		11	誕生会
	28	職員会議		14	ケース会議
	3	祝日企画；綿菓子づくり		15	TEACCHプログラム研究会
4	祝日企画；ゴミ拾い・清掃活動	17		祝日企画；創作活動	
5	ケース会議	19		献立会議	
5月	10	誕生会	28	職員会議	
	11	ピクニック；中原公園	20/25/26	強度行動障害支援者養成研修 実践研修	
	15	ピクニック；東公園	8月	4	ケース会議
	16	ピクニック；中原公園		18	ケース会議
	17	ピクニック；千栗土居公園		19	TEACCHプログラム研究会
		献立会議		22	献立会議
	18	ケース会議		23	誕生会
	26	職員会議		25	職員会議

\*料理教室3月・6月・8月 \*音楽活動 3月～8月（グループに分かれて実施）

▣編集後記

今年度も折り返しの時期を迎えました。利用者の方の成長を垣間見る場面、心を感じさせてくれる嬉しい場面に立ち会う事もあれば、課題に直面し、支援者として気づきを与えて頂いた事もありました。いつも、支援を必要としている方の、お気持ちに添い、安心・安全に朝日山学園を利用して頂けることを大事にしながら、これからもサービスを提供していきます。（江藤）